

平成29年西東京市教育委員会第9回定例会会議録

- 1 日 時 平成29年10月24日（火）
開会 午後2時01分 閉会 午後3時21分
- 2 場 所 防災センター6階 講座室2
- 3 付議事件 別紙議事日程のとおり
- 4 出席委員 教 育 長 木 村 俊 二
教 育 長 職 務 代 理 者 宮 田 清 藏
委 員 森 本 寛 子
委 員 高 橋 ますみ
委 員 米 森 修 一
- 5 出席職員 教 育 部 長 渡 部 昭 司
教 育 部 特 命 担 当 部 長 南 里 由 美 子
教 育 企 画 課 長 早 川 礼 成
教 育 部 副 参 与 兼 学 校 運 営 課 長 等 々 力 優
教 育 指 導 課 長 内 田 辰 彦
教 育 部 主 幹 兼 統 括 指 導 主 事 福 田 忠 春
統 括 指 導 主 事 宮 本 尚 登
指 導 主 事 鈴 木 壮 平
教 育 支 援 課 長 清 水 達 美
社 会 教 育 課 長 岡 本 範 子
公 民 館 長 大 橋 一 浩
図 書 館 長 中 川 恭 一
- 6 事務局 教育企画課長補佐兼学務係長 大 谷 健
教育企画課企画調整係長 和 田 克 弘
- 7 傍聴人 2人

平成29年西東京市教育委員会第9回定例会議事日程

日 時 平成29年10月24日（火） 午後2時から

場 所 防災センター6階 講座室2

- 第 1 会議録署名委員の指名
- 第 2 議案第37号 西東京市公立学校職員の処分の内申について
- 第 3 議案第38号 西東京市公立学校職員に関する指導について
- 第 4 議案第39号 西東京市立学校の副校長人事の内申について
- 第 5 報 告 事 項
 - (1) 平成29年西東京市議会第3回定例会報告（教育関係）
 - (2) 平成29年度 全国学力・学習状況調査報告
 - (3) 「第11回縄文の森の秋まつり」の実施について
- 第 6 そ の 他

西東京市教育委員会会議録

平成29年第9回定例会
(10月24日)

午 後 2 時 01 分 開 会

議事の経過

○木村教育長 ただいまから平成29年西東京市教育委員会第9回定例会を開会いたします。

これより直ちに本日の会議を開きます。

日程第1 会議録署名委員の指名を行います。本日は森本委員にお願いしたいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○木村教育長 それでは、本日は森本委員にお願いいたします。

○木村教育長 次に、秘密会にて取り扱う議題を決定したいと存じます。

日程第2 議案第37号 西東京市公立学校職員の処分の内申について、日程第3 議案第38号 西東京市公立学校職員に関する指導について、日程第4 議案第39号 西東京市立学校の副校長人事の内申については、人事に関する案件であることから、西東京市教育委員会会議規則第13条第1項ただし書きの規定に基づきまして会議を秘密会とし、日程第6 その他その後開催したいと思いますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○木村教育長 御異議ないようですので、ただいまの案件については秘密会にて取り扱うことと決定いたしました。

○木村教育長 日程第5 報告事項に入ります。

質疑は後ほど一括して行いたいと存じます。

それでは、(1)平成29年西東京市議会第3回定例会報告(教育関係)、説明をお願いいたします。

○渡部教育部長 平成29年市議会第3回定例会に関しまして、報告をさせていただきます。

平成29年市議会第3回定例会は、9月1日から9月29日まで開催されました。

はじめに、条例等付議案件、請願、陳情関係につきましては、今回、教育関係はございませんでした。一般質問は9月4日から9月7日までの4日間行われました。教育関係につきましては、6会派18名の議員から御質問がございました。

主な内容でございますが、今回は、定例会では、教育長就任後初の市議会というところから、教育長の所信、教育観についての質問が多くございました。また、小中一貫教育について、図書館のあり方について、施設の有効活用と子どもの居場所についてなどの質問がありました。詳細につきましては、後ほどお手元の資料を御参照をお願いいたします。

以上、簡単ではございますが、報告とさせていただきます。

○木村教育長 ありがとうございます。

次に、(2)平成29年度 全国学力・学習状況調査報告、説明をお願いいたします。

○福田教育部主幹兼統括指導主事 それでは、私から平成29年度 全国学力・学習状況調査について説明をさせていただきます。

続きまして、資料となります平成29年度全国学力・学習状況調査について、を御覧ください。

い。

1、調査の内容でございますが、本年4月18日に小学6年生と中学3年生の全児童・生徒を対象として、国語、算数・数学の2教科及び質問紙調査を実施いたしました。

なお、国語、算数・数学では、主に知識に関する問題であるA問題と、主に活用に関する問題であるB問題の2種類の問題を実施しております。

2、調査の目的につきましては、そちらに載せさせていただいておりますので、そちら3点御覧ください。

3、調査の結果でございます。

(1)の表が小学校6年生の結果でございます。国語と算数の2教科それぞれで、主に知識に関するA問題と主に活用に関するB問題について、全国、東京都、西東京市の平均正答率、さらに全国と東京都と西東京市を比較した値を示しております。西東京市の正答率でございますが、国語Aは77%、国語Bは62%となり、全国比でプラス2%とプラス4%、東京都比でプラス1%とプラス2%となっております。算数Aは82%、算数Bは50%となり、全国比でプラス3%とプラス4%、東京都比はA、Bともプラス1%となっております。

(2)の表が中学校3年生の結果でございます。西東京市の正答率でございますが、国語Aは81%、国語Bは76%となり、全国比はA、Bともプラス4%、東京都比はA、Bともプラス2%となっております。数学Aは67%、数学Bは52%となり、全国比でプラス2%とプラス4%、東京都比でプラス1%とプラス2%となっております。

(3)は、質問紙調査のうち特徴的な内容をお示ししました。

はじめに、いわゆるアクティブラーニングや言語活動に関わる内容についてです。授業において自分の考えを発表する機会を与えられていると回答した児童・生徒の割合は、小・中学校とも全国平均より4%程度高い状況にあります。

また、授業の中で話し合い活動を行っているという回答した児童・生徒の割合は、小・中学校とも年々増加し、全国平均より高い状況にあります。

次に、読書が好きであると回答した生徒の割合は年々増加し、全国平均を上回っております。

次に、学習において見通しを持たせたり振り返りをさせたりする活動の状況についてです。中学校においては、授業の中で、目標、目当て、狙いが示されていたと回答した割合は、全国平均よりマイナス4%、授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと回答した割合は、全国平均よりマイナス6%となっております。

4の結果の考察については、3点ございます。

1点目は、本市においては小・中学校とも児童・生徒が発表したり話し合ったりする学習活動を積極的に取り入れており、一律的な講義形式から、相互の交流、対話的な学びを取り入れた授業へと改善が進んでいることが伺えます。

2点目は、漢字の読み書き、商を分数で表すこと、学習した用語についての理解など、幾つかの内容について全国の平均正答率を下回っており、知識・技能を身に付ける指導方法の工夫・改善をしていくことが必要であると捉えております。

3点目は、中学校において学習目標を示したり、学習したことを振り返ったりする活動の

割合が全国平均より下回っていることから、学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れられるように工夫をすることが必要であると捉えております。

5、今後の取組の方向性といたしましては、3点ございます。

1点目は、学力向上推進委員会や英語教育推進委員会における義務教育9年間の学びの連続性を基盤とした授業改善です。これらの委員会において、小学校と中学校の教員がともに指導技術についての研修を深める中で、目指すべき児童・生徒の姿や小・中学校においてこれまで実践してきた指導のあり方等について共有し、互いのよさを取り込んでいきます。

お手元に緑色の少し厚目の冊子をお配りさせていただいております。

こちらは、小学校算数の学力向上推進委員会が昨年度末に作成いたしました研究報告書です。中のほう、前半部分を御覧いただきますと、今月の指導のポイントというページがたくさん入っております。こちらは、学年ごと、月ごとに授業を行う際の留意点が示された教員向けの資料です。各学校の学力向上推進委員の教員が、朝や夕方の打ち合わせで、この資料の活用について所属校で周知しております。また、各学校を題材にした算数の問題、それから西東京市を題材にした算数の問題、こちらも後ろのほうに載せさせていただいておりますので、後ほど御覧いただければと思います。

2点目は、「学力向上推進プラン」の改善です。今年度より様式を変更し、本プランの作成に校長が積極的に関わるようにし、授業改善の取組が校長の学校経営の中核となり、学校全体で教員の授業改善と児童・生徒の学力向上を図っていきます。

3点目は、指導主事による授業改善に関する指導・助言の充実です。本年3月に告示された新しい学習指導要領の改善のポイントを確実に伝え、市内各学校の授業力の向上が図られるよう、力を尽くしてまいります。

報告は以上でございます。

○木村教育長 ありがとうございます。

次に、(3)「第11回縄文の森の秋まつり」の実施について、説明をお願いいたします。

○岡本社会教育課長 私からは、第11回縄文の森の秋まつりの実施について、報告申し上げます。

縄文の森の秋まつりは平成29年10月8日に遺跡公園の東西の遺跡用地を一体的に使用し実施いたしました。目的としては、国史跡、下野谷遺跡の価値と魅力を広く周知するとともに、文化財を活用した地域の方々との協力のもと、地域活性化の取組を推進するものでございます。

当日は、市民団体及び地元商店会、市内事業者、東伏見小学校、東京都等と連携協力を図り、約800人の方に参加をいただきました。

内容の主なものとしては、市民団体等による縄文体験・ワークショップとして、火おこし、弓矢体験、縄文の布づくりなど11のブースを設置し、実施いたしました。本年は多摩六都科学館も新たに参加し、縄文時代の食をテーマとしたモバイルづくりというワークショップを実施いただきました。また、当日は、東京都埋蔵文化財センターから4人の職員の方を派遣いただき、遺跡の解説などにも御協力をいただきました。

そのほか、考古学を専門にしている早稲田大学等のボランティアの協力を得て、VRを活用し、遺跡の解説を実施しました。

昨年度は、市内事業者の方々に下野谷遺跡のオリジナル商品を作成いただきましたが、当日はこうした商品としても販売をいただきました。

実施の様子は、写真として掲載いたしました。総合型地域スポーツクラブココスポ東伏見に参加している児童が披露している、したのや縄文体操や、東伏見小学校の子どもたちが縄文服を作りまして、それを披露した、縄文服ファッションショーなどが楽しく行われました。

私からは以上でございます。

- 木村教育長 説明が終わりました。質疑を受けます。
- 森本委員 定例会報告の中の夏季学習支援の実施状況についてのところで教えていただきたいんですけども、今回108名の応募があったということですけども、学校による人数の差みたいなものはあったのでしょうか。もしあったとしたら、それが場所のせいだったのかどうかということがわかれば教えていただきたいと思います。
- 内田教育指導課長 夏季学習支援の各学校ごとの申込状況でございますが、それぞれ全校から募集を受けております。ただ、学校によって人数の多い学校と少ない学校はございますが、近い学校が必ずしも人数が多いという結果にはなっておりませんでした。
- 森本委員 とてもいい企画だと思います。これは毎年続けていかれる予定なんですか。
- 内田教育指導課長 次年度に向けても続けていく予定でございます。
- 森本委員 できれば場所もちょっと2箇所ぐらいあると皆さん参加しやすいのかと思いますが、その辺は予算の関係とかもあって難しいところもあるかと思いますが、なるべく皆さんの行きやすい場所で参加できるようにこれからも工夫をしていただけたらと思いますので、よろしくをお願いします。
- 木村教育長 ほかの委員の方、御質問ございますでしょうか。
- 宮田委員 西東京市学力向上推進委員会、小学校算数の部で大変立派な報告書を書いていただいて、それは大変いいと思うんですけども、これを小学校ですから委員の先生だけではなくていろいろな先生方に普及させていかないと、委員の人はうまく指導したとしても、ほかの子どもたちにはいかないわけです。だから、具体的にどうやってこの成果を普及させようと考えているんでしょうか。
- 福田教育部主幹兼統括指導主事 今、宮田委員から御指摘いただいたとおり、この冊子のままですと、やはり学校での活動に生きていきません。各学校の算数で非常に力を発揮している先生にこの委員会に参加していただいております。こちらの指導のポイントは、学年ごと、月ごとになっておりますので、朝とか夕方の打ち合わせの会を活用して、授業改善の進め方について、ミニ研修会のような形でそれぞれの学校で委員の先生が周知しています。そうした取組により、1人の委員の先生からほかの先生へ広まるように努めているところです。
- 宮田委員 それは具体的に、月に一遍とか週に一遍とかそういうことでやっているんですか。
- 福田教育部主幹兼統括指導主事 こちらは月ごとに資料を出しております。あと、学年も複数ありますから、毎日ある打ち合わせの中で、担当の委員の先生のほうで計画的に考えまして、この日はここを紹介しようとか、そういった形で、ほかの先生にここに載せられている

要素が伝わるように工夫して取り組んでおります。

- 宮田委員 是非徹底していただかないと、これが対外的な冊子でいいことをやっているよというPRだけでは、極端なことを言うと、子どもの学力向上に何にも役に立たないわけですから。一番肝心なのは、それぞれの学校で具体的にこういういいことが普遍的になされるようなことで、教育委員会指導のほうでもどうやって実際にやっているのかと調べて、例えば、この学校はこんなふうにしてやっていますとか、そういう情報を流していただきたいと私は思うんです。そうでないと、個々の委員の先生方のやり方でやっていて、それが必ずしもザ・ベストかどうかかわからないわけなので、そういうお互いにいいことをやったことが、本当に皆さんに普及するように、是非、教育委員会としてどうやっているかをちゃんと調べて、普遍的に皆さんにまた教えるという指導をやっていただきたいと思います。
- 福田教育部主幹兼統括指導主事 今、宮田委員からお話をさせていただいているところは、本当に大事なところだと思っております。学力向上推進委員会は今も定例的に開催しておりますので、今おっしゃっていただいたところを踏まえて、教育指導課としてしっかりと進めてまいります。ありがとうございます。
- 木村教育長 では、ほかの委員の皆さん、御質問ございませんでしょうか。
- 森本委員 この質問紙調査の中で、読書好きが毎年増えているというデータが出ているんですけれども、なかなか今の時代、すごいことだと思うんですが、これについて何か指導課で、こういうことが功を奏して上がってきたんではないかというようなところがあれば教えていただきたいんですが。
- 福田教育部主幹兼統括指導主事 確実にこれがというところはちょっと難しいところなんですけど、例年11月の読書月間や、それぞれ、学校で年間を通して朝読書などの読書の取組をしております。11月の読書月間に合わせまして、どれだけ図書室とかで本を借りているかという読書調査を踏まえて、各学校で未読率を下げるような対策を考えていただきたいと、校長会議等でお話をしてきました。今回の結果は、それぞれの学校で取り組んできた成果かなと捉えております。
- 森本委員 ありがとうございます。
- 米森委員 議会の中でも給食費の公会計ということでありまして、今、部活の問題とか、教職員の方の一般事務の残業の問題もあってでしょうけれども、業務を軽減させようという動きがございますよね。その中で、公会計についてはいろいろ問題があるというのもわかりますけれども、現在取り組んでおられる、こういうことで業務を軽減しようということが、ほかにお考えになっていることがあれば、ちょっと教えていただければと思います。
- 内田教育指導課長 今年度につきましては、自己申告の今年度の各学校で取り組む内容の中に、校務軽減について各校でどういうふうに取り組んだらいいのかを具体的に示してくださいということを校長先生お一人お一人に課して、その進捗を教育指導課長のほうできちんと見極めていきます。

例えば、今年度は部活動の休部日を設けるように教育指導課のほうで各校に通知として出しております。それを活用して、例えば休部日の部活の顧問の先生のお名前を黒板に書いて、今日はこの先生は部活がないんですということを明確にすることで早く帰りやすいというか、

ほかの部活がやっていたりすると、先生方が遠慮されて、なかなか夜遅くまで残っていなければいけない雰囲気もあったところを、休部日の先生の名前を書くことで割と早く帰ったり、あるいは部活をやらなくて教材研究だとか事務をして早目の時間に帰ったりするようなことをしています。あるいは夏休みの期間にみんなで集中して学校閉校日というのを設けて、夏休みをしっかりととれるように工夫している学校があったり、夏休み期間中だけですけれども、夜間の電話を留守番電話にして、夜遅くまで残ってなくても済むような形にしている学校の取組もあります。

また、今、校長役員会の中で、教員の負担軽減についての具体的な内容、今お話ししたような夜間の電話の取り次ぎはどうしたらいいとか、あるいは夏季休業中の一斉閉校日についての取扱いはどうしたらいいかということについて、校長役員会と連携して、一緒に話合いながら、どういうふうに市として共通でやっていこうかということで、話合いの取組をしています。

また、次年度に向けては、今、予算要望の段階ですけれども、部活動指導員を配置できるように要望したり、今まで何時間働いてとかということが、教員の勤務体系の中で残業という仕組みがないものですから、比較的長い時間学校に残って仕事をする教員も今までいるというのが国や東京都の調査等で明確になったところもあるので、タイムレコーダー等を導入して勤務時間等の把握ができるようなことについて、予算要望をして整えている、そういった検討をしているところでございます。

○木村教育長 では、この件についてよろしいですか。

では、ほかの委員の方から御質問ございますでしょうか。

○高橋委員 学力・学習状況調査についてのところにちょっと戻ってしまうんですけれども、学力向上推進委員会のおかげで、算数・数学の授業の内容が小・中学校協力して、質を高めていただいているというのはとてもありがたいことだと思いました。

それで、今後の取組の方向性についてちょっと質問なんですけれども、(2)で、「授業改善推進プラン」の作成に校長が積極的に関わるよう今年度、様式を変更した」とあるんですけれども、何となく、校長先生はもともと授業改善推進には積極的に関わっているのが普通だという感覚があったんですけれども、これをわざわざここにこういうふうに明記されていらっしゃるには、何かそうする必要があったと思うんですけれども、その内容について教えてください。

○内田教育指導課長 このことにつきましては、これまでも学校単位で、校長の命のもと、それぞれの学校で課題を明確にしながら学力向上に努めているというところは変わらずにあると認識しています。ただ、もう一步進めて、今回の学力調査等の具体的な数値をもとにしながら、きちっと校長にリーダーシップをより発揮してもらいたいという意図のもと、校長の名前で、校長が考える学力に関する見解、それから各学校で取り組む学力向上に向けた具体的な取組を校長先生自らが示すことで、それぞれの学校の課題に合った学力向上策が一層推進するということを期待しまして、この年は学力向上推進プランについて少し様式を変えて、今校長先生方に考えていただいているというところでございます。

○高橋委員 これは小学校、中学校、どちらの校長先生もということですよ。

○内田教育指導課長 両方の校長先生に、全校の校長先生に今考えていただいているところです。

○高橋委員 はい、わかりました。ありがとうございます。

○米森委員 学習状況のところ、4番の(2)で、全国より弱いところが書いてあるんですが、読み書きとか、幾つか例示があります。これはどういうところが弱いのか、ちょっと具体的に教えてもらおうとわかりやすいかなということと、3番の中学校のところ、やはり小・中学校の連続性、授業の進め方等、課題があると思うので、その辺のことについても教えていただければと思います。

○福田教育部主幹兼統括指導主事 例えば、漢字の読み書きで弱いところですが、例えば「参加対象」の「対象」を漢字で書くなどです。

○米森委員 いっぱいあるやつ。

○福田教育部主幹兼統括指導主事 そうですね。あと「希望者」、希望する者の「希望」を書くとか、その漢字が読めないわけでないんでしょうけれども、そういった漢字の読み書きに課題が、全国平均よりちょっと弱いというところがあったりしました。

ほかのところも、例えば、さっき商を分数であらわすのも、5割る9を分数であらわすというようなどころなんですけれども、そういった幾つかのところ、ちょっと弱い部分というのがございました。必ずしもこれが全ての子どもで身につけていないとかそういう問題ではないかと思しますので、そういったところは、今課長がお話しした授業改善推進プラン、それぞれの学校の結果を見て、それぞれの強み、弱みを踏まえまして、学校で対応していくことになるかと思います。

あと、中学校での課題の部分ですけれども、学習要領の中でも見通しを持たせて振り返りをさせる、これが大事で、主体的な学びにつながる場所であるとあるんですが、やはり小学校と中学校の授業のところを比べますと、小学校の先生は大体、目当てというのが最初にあって、今日何をやるのかというのがわかりやすい授業になっていることが多いんですが、中学校ですと、まだ古いタイプの授業も見受けられます。そういったところで、今回、結果として、ちょっと全国平均より低いところがあります。こちらも今、田無第三中学校とけやき小学校の小・中連携教育の研究で、小学校と中学校の授業の進め方に着目し、目標をしっかりと書いて、今日は何を学んでいくのかということ、目標を持たせて振り返りをさせるということを重視してやっている様子を、我々も参観したときに見ているところです。

中学校のほうで課題はありますけれども、少しずつそういった改善が見られているところですので、より改善が進みますよう教育指導課としてもこれからも十分に力を尽くしていきたいと考えております。

以上です。

○米森委員 お願いします。

○宮田委員 それで、けやき小学校は結局いいんですか。成績をそういうふうにするによって、ほかよりも圧倒的にいいのかどうか、具体的にはどうなんでしょうか。

○福田教育部主幹兼統括指導主事 個別の学校の状況については、ここで今詳細な説明はできないところですが、やはり小学校と中学校の授業の進め方を合わせたり、あと、英語や総合

的な学習の時間などの接続を工夫したりしておりますので、それぞれ成果としてあらわれてくるのではないかと期待しているところです。

- 宮田委員 ただ、それを進めるということは、いいということがわかっていない。別に点数はともかくとして、優れているからさらに進めているんだという根拠だと思うんですが、それを言わないでこうだというのはいかなものかというふうに思うんです。根拠があるから、いいか悪いかぐらいのことは言っても、今後進めようと思っているんだしたら、それを個別だからわからないではないと思うんだけど。みんな普遍的にしようというふうな答え方をされたから私は聞いているんですけれども。
- 内田教育指導課長 けやき小学校単独の中で経年の比較をしてみますと、全国の基準と比較した中での成績の上昇率は、今回と昨年とを比べますと、今年度のほうが成績としては伸びているという実態がございます。
- 宮田委員 それから、これは連携だから中学だと思うんだよね。田無第三中学校が伸びてくると、それがまさに連携、小学校のある種の財産が子どもたちに受け継がれて、それで伸びているということになるのではないかと思うんですけれども。
- 内田教育指導課長 今手元に第三中学校の経年の比較の資料がないもので、具体的にどのぐらい伸びたのかということは、ちょっと先ほどのけやき小学校のようには申し上げられませんけれども、田無第三中学校につきましても、過去の時点、もう少し以前の状況に比べますと、今年度についても伸びているという実態はございます。昨年度の比較としては、数字としては今持っていないので、ちょっと昨年度の比較は申し上げられません。
- 宮本統括指導主事 田無第三中学校とけやき小学校の小・中連携につきましても、本年度、研究2年目に当たりますが、それ以前から両校は連携を強めていたところでございます。
以前、田無第三中学校におきましては、若干授業が落ちつかない状況等も見られましたが、連携を強化したことにより、けやき小がきちんとというか、指導していったことも影響し、大変ここ数年落ちついた雰囲気の状態になっておりまして、学力の数値が出るかどうかという議論もあるかと思いますが、大変落ちついた環境で授業が行われているということは、小・中連携の成果というふうに考えているところでございます。
- 宮田委員 ですから、落ちついて勉強できれば伸びる。要するに、例えば遊んで、がやがやして、先生の言うことをよく聞けないということよりは伸びてくるのではないかと期待されるんですが、そういう観念的にこうやったら小・中連携はいいんだということだけではなくて、ある程度やっぱりエビデンスを示しながら、もしよければ強力に進めていただくということが必要だと思うんです。それをよろしくお願いします。
- 木村教育長 ほかに質疑はございませんか。――質疑を終結します。

-
- 木村教育長 日程第6 その他を議題といたします。教育委員会全般についての質疑をお受けいたします。
 - 宮田委員 テレビで放送されているのもう御存じだと思いますが、更衣室にビデオを置いて、それで長期にわたって撮影して、それを校長先生がほかの人は知らないからといって消してしまったというようなことで、本人は懲戒免職、書類送検をされて、極めて全国的に放

送されて、その地域の教育水準とかイメージを悪くしているんですが、そういうことを鑑みて、ちゃんとといたしますか、注意するよというふうなことはやっていたらいいんじゃないでしょうか。

- 内田教育指導課長 教育委員会におきましては、毎月の校長会の機会を通しまして、各校の校長に対して、そういったサービス事故の具体的な例を示したり、あるいはサービス事故防止月間等を通して、サービス事故防止の研修を計画的に進めるように指導しているところです。

また、東京都の中におきましても、様々なサービス事故の事案が、毎月東京都のほうから情報提供を西東京市に受けておりますが、その情報を逐次、各学校に連絡をしまして、各校におきまして、それぞれ情報を教職員に周知しながらサービス事故の防止に役立てるよう指導しているところでございます。

- 宮田委員 一般的にはサービス事故はいけませんとかと言っても、やはりそれでも現実に起こっているわけです。ですから、そういうところをきちっと明確に、エグザンプルとして言って、違法なことは隠蔽してはいけませんとか、具体的にしっかりお伝えいただかないと、一般的にこれをやってはだめです、あれをやってはだめですと言うだけでは、その学校だって当然のことながら教育委員会がそういうことはやっていたんじゃないか。ですが、現実に起こっているわけです。ですから、起こったときに改めて、一般的な話ではなくて個々の例を挙げて、しっかり指導をするようにお願いします。

- 木村教育長 ほかに質疑はございませんか。——質疑を終結します。

-
- 木村教育長 日程第2 議案第37号 西東京市公立学校職員の処分の内申について、日程第3 議案第38号 西東京市公立学校職員に関する指導について、日程第4 議案第39号 西東京市立学校の副校長人事の内申については、人事に関する案件であることから、先ほど決定しましたとおり、会議を秘密会とさせていただきます。

恐れ入りますが、関係者以外の方は退席をお願いいたします。

それでは、暫時休憩といたします。

午後 2 時 41 分 休憩

午後 3 時 21 分 再開

- 木村教育長 休憩を閉じまして会議を再開いたします。

以上をもちまして平成29年西東京市教育委員会第9回定例会を閉会いたします。ありがとうございました。

午後 3 時 21 分 閉会

西東京市教育委員会会議規則第29条の規定によりここに署名する。

西東京市教育委員会教育長

署 名 委 員